



令和4年度
作新学院大学・作新学院大学女子短期大学部
教職実践センターシンポジウム
[オンデマンド講演会]

LDの挑戦! 算数0点から新聞記者に ～苦手は得意でカバー 個性を伸ばして生きる～

当センターでは、特別支援学校教諭免許状を取得できる本学の特色を生かし、平成24年度から、幼・小・中・高・特別支援学校等における特別支援教育の現状と課題を明らかにし、その在り方について参加者とともに考えるためシンポジウムを開催してきました。

特に昨年度からは、「インクルーシブ教育」に焦点化していくこととし、大阪市立大空小学校初代校長木村泰子さんをお迎えし、オンデマンド講演会「インクルーシブ教育　はじめの一歩」を開催しました。

今年度も、授業に集中できなかったり学級に馴染めなかったりする子どもたちが学校生活の中でのつまずきや不安を少しでも解消できるよう日々の取り組みを続けていたる現場の先生方の参考にしたいだけるようにと、発達障害の当事者であり、学習障害のうちの算数障害(ディスカリキュリア)とADHD(注意欠陥多動性障害)を持つ講師に、幼い頃からいじめや無理解で苦しみながらも、両親や周囲の理解で個性を伸ばしてきた体験をもとに講演していただきます。

日 時 2023年2月13日～28日(この期間中)
配信予定

参加費 無料

講 演 おおはし ひろのぶ
大橋 広宣 さん 映画コメンテーター

■プロフィール

1964年山口県山口市生まれ。幼稚園に入るものの集団生活になじめず、「これ以上預かれないと園から言われ、年中終了時に別の幼稚園に転園。その後、地元の小中学校に通い、壮絶ないじめを経て、中学時代は「進学は難しい」と言われながら、自宅から往復2時間以上かかる県立高校に何とか合格し、3年間の遠距離通学を経験。1年の浪人生生活を経て、地元の私大・徳山大学にやっと入学。4年生の時、入社試験は最下位だったものの、担当教授の編集長への強い推薦と、面接時の2時間にわたる映画談義が映画好きの社長に気に入られ、山口県内の地方紙に入社。記者や企画事業部などを経て2005年退社。

現在はフリーランスで、映画コメンテーターとして地元テレビ局で映画解説を行う他、映画の製作や宣伝等にも携わり、イベントやテレビ番組のディレクター、雑誌、印刷物のライターなどを務めている。

参加申し込み方法 下のURL、または右のQRコードからお申し込みください。
<https://forms.gle/K3mrVCReut7yVjC86>



※代表の方が学校名・団体名等で申し込んでいただいても構いません。オンデマンド講演会の配信期間、URLが決まりましたらご連絡いたします。

主 催 作新学院大学・作新学院大学女子短期大学部教職実践センター

後援(予定) 栃木県教育委員会、宇都宮市教育委員会、栃木県小学校長会、

栃木県中学校長会、栃木県高等学校校長会、栃木県連合教育会、栃木県PTA連合会、
栃木県高等学校PTA連合会、宇都宮市PTA連合会、栃木県公認心理師協会